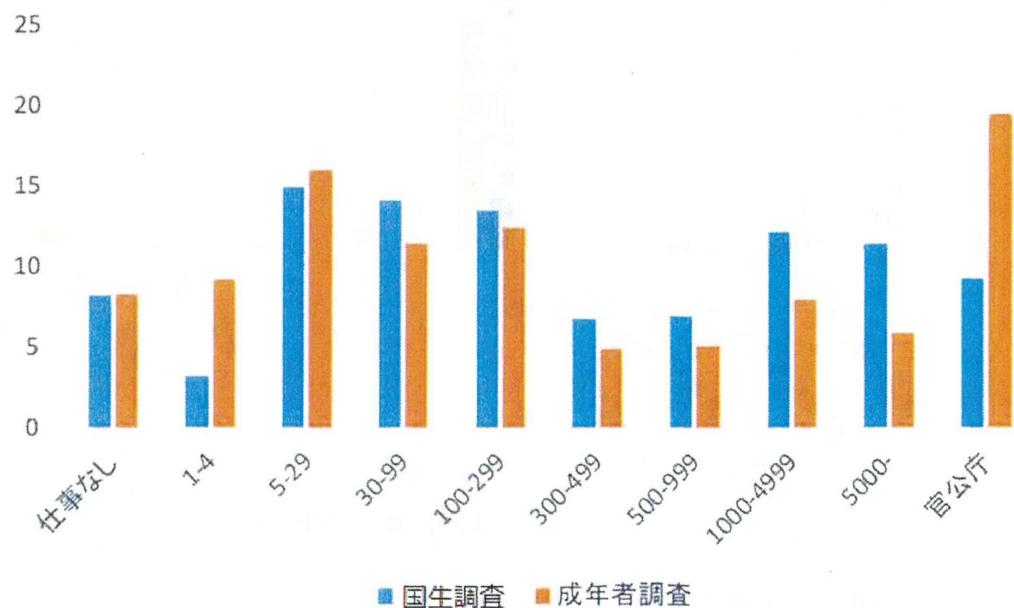
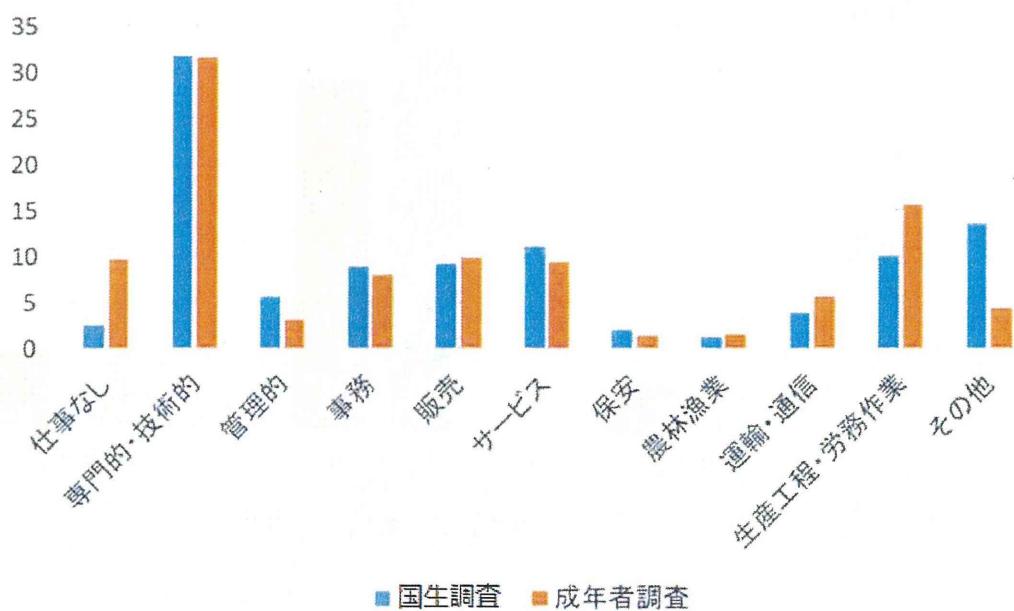


➤ 会社規模



➤ 職業分布



➤ 仕事の有無+家事・通学・その他 (90%以上が仕事あり)

5

4

2

0

仕事なし・家事

仕事なし・家事通学

仕事なし・その他

■ 国生調査 ■ 成年者調査

➤ 仕事の有無+就業希望+希望職種 (90%以上が仕事あり)

なし, 希望せず ■

なし, 希望あり, その他 ■

なし, 希望あり, 契約社員 ■

なし, 希望あり, 派遣社員 ■

なし, 希望あり, アルバイト・パート ■

なし, 希望あり, 正規職員 ■

なし, 希望あり, 内職 ■

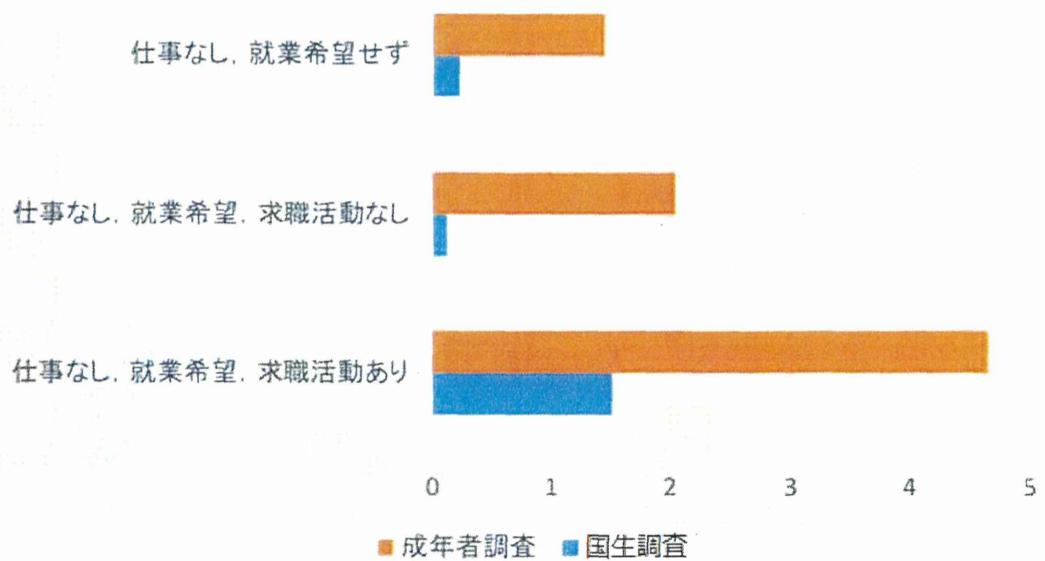
なし, 希望あり, 自家営業の手伝い ■

なし, 希望あり, 役員・自営業 ■

0 1 2 3 4 5

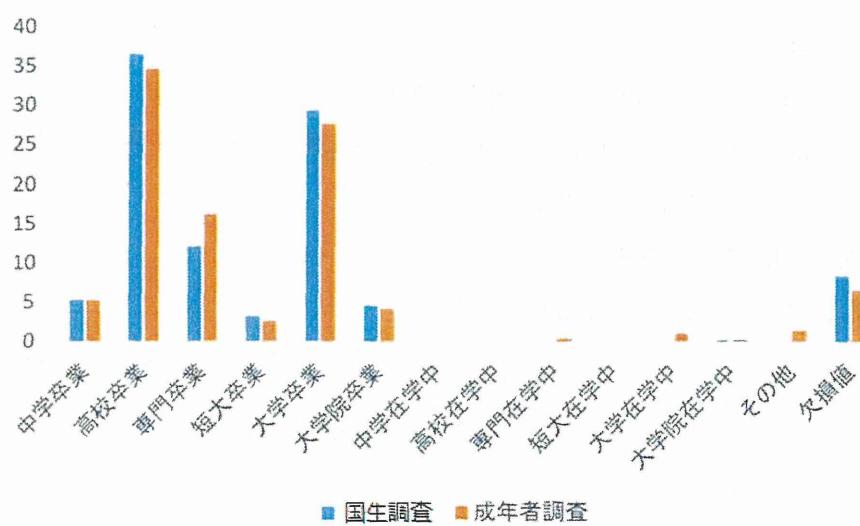
■ 成年者調査 ■ 国生調査

➤ 仕事の有無+就業希望+求職活動（90%以上が仕事あり）

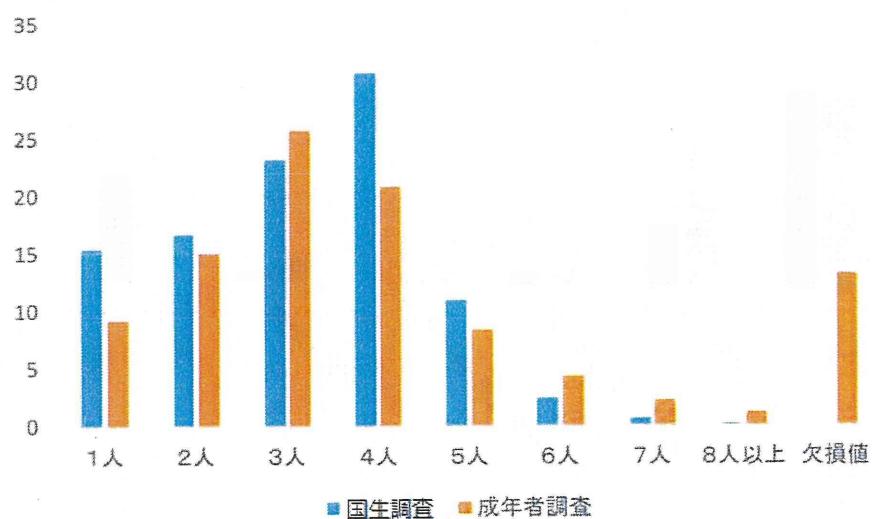


● 欠損値をカテゴリとした2調査間の比較

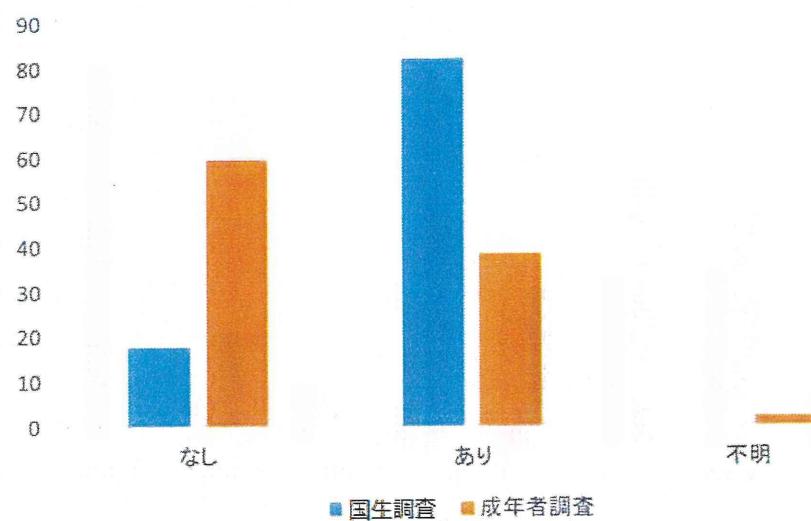
➤ 学歴



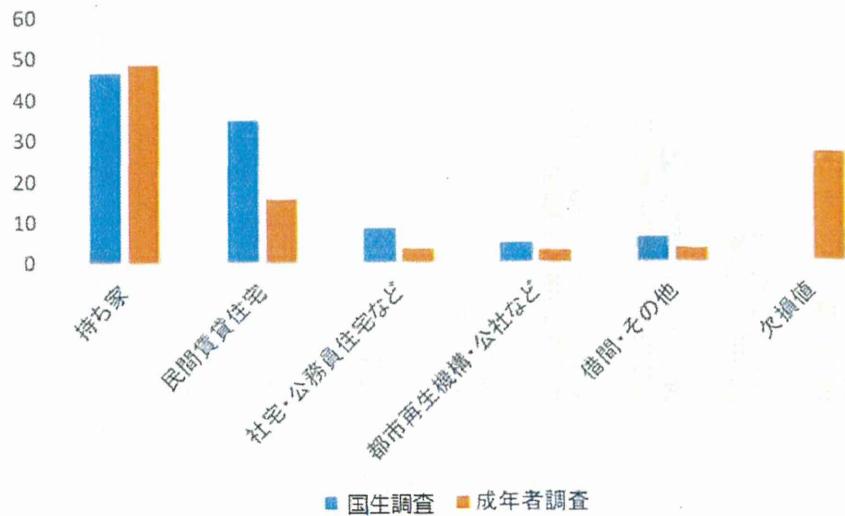
➤ 世帯人数



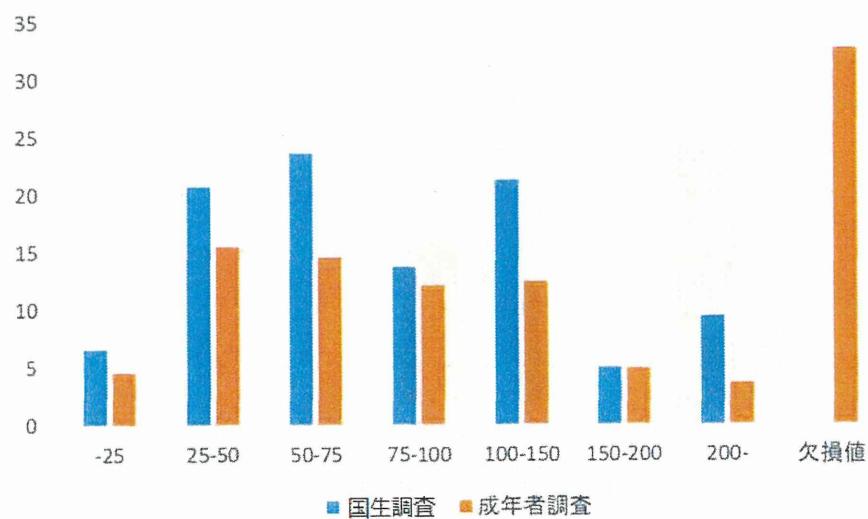
➤ 配偶者（欠損値なし）



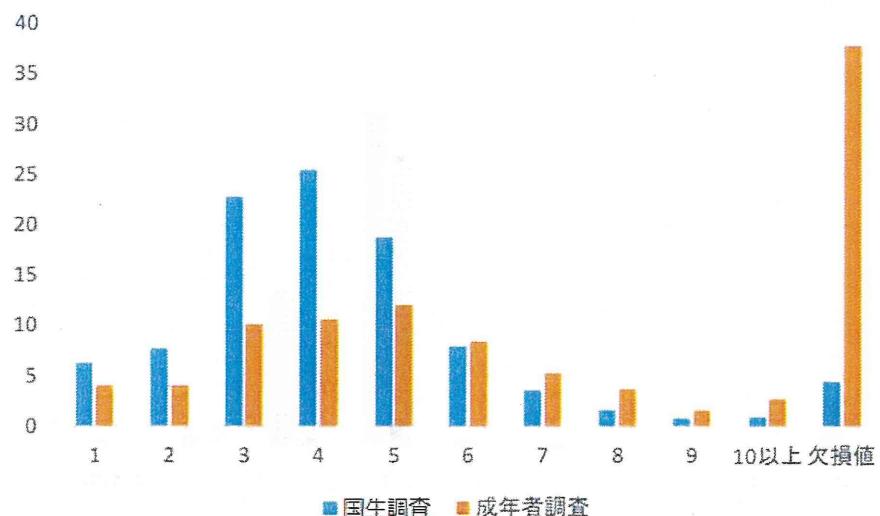
➤ 住居種類



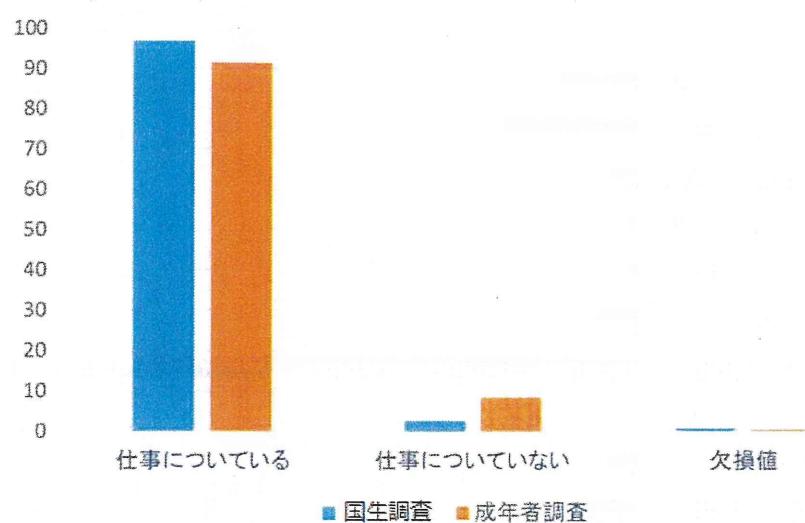
➤ 住居床面積



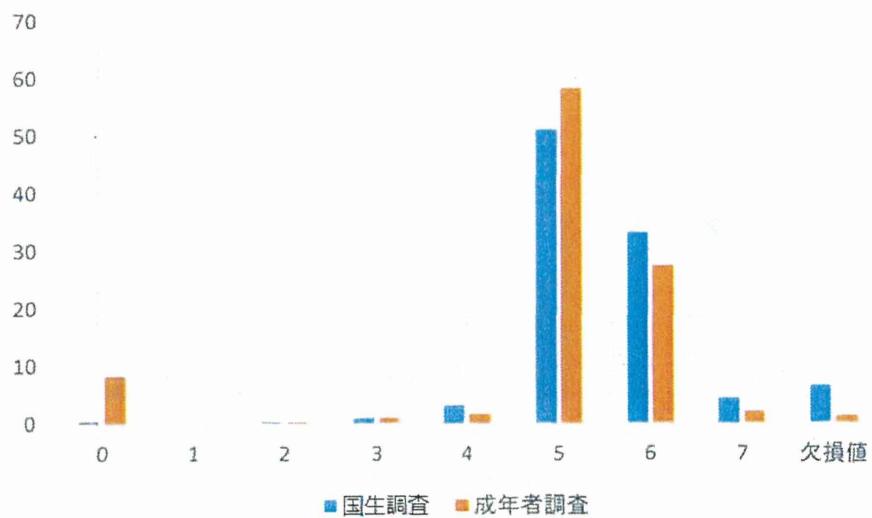
➤ 住居室数



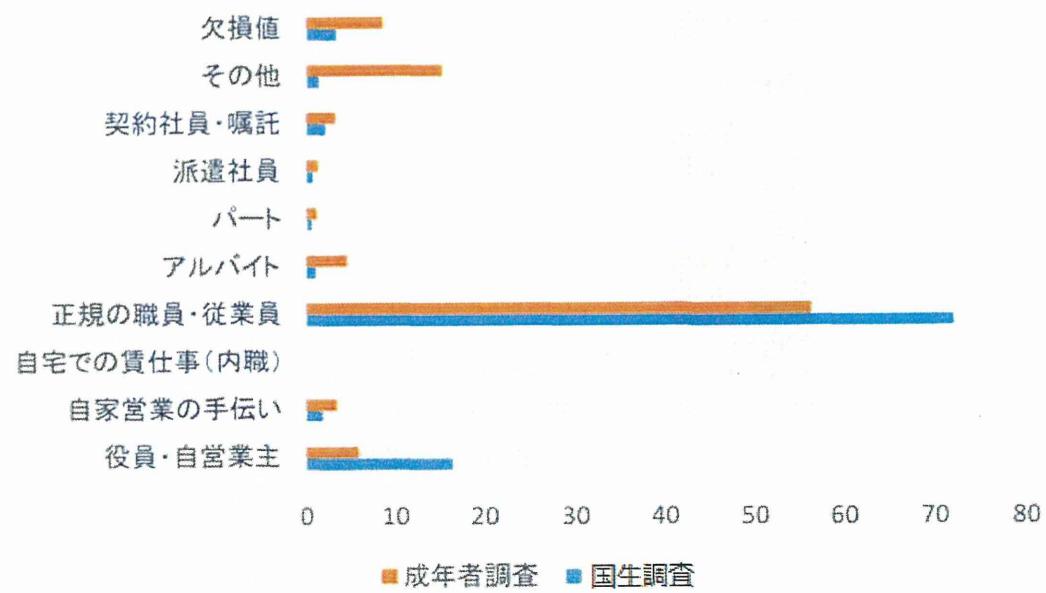
➤ 仕事の有無



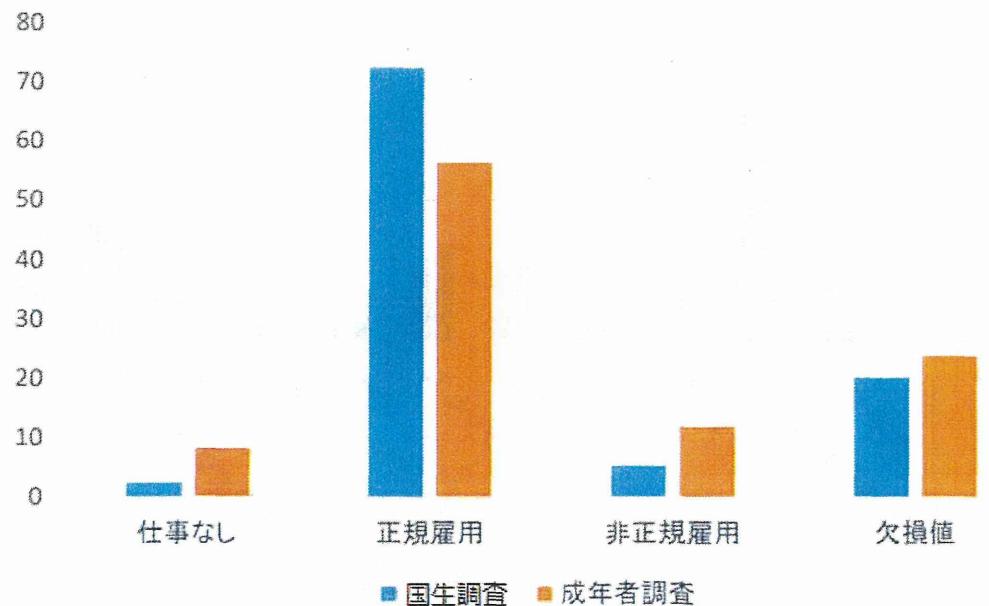
➤ 一週間の勤務日数



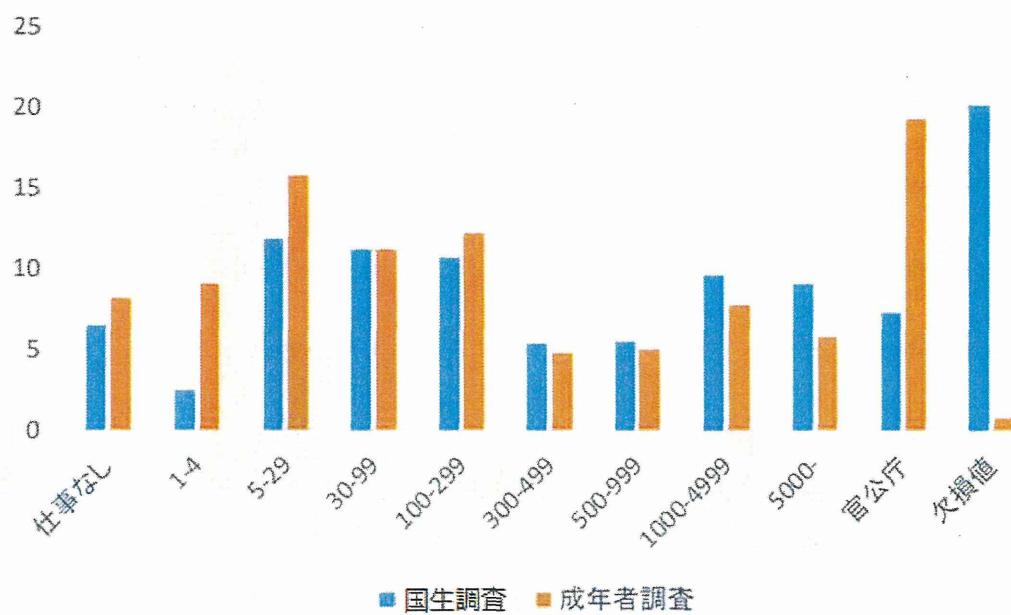
➤ 就業形態



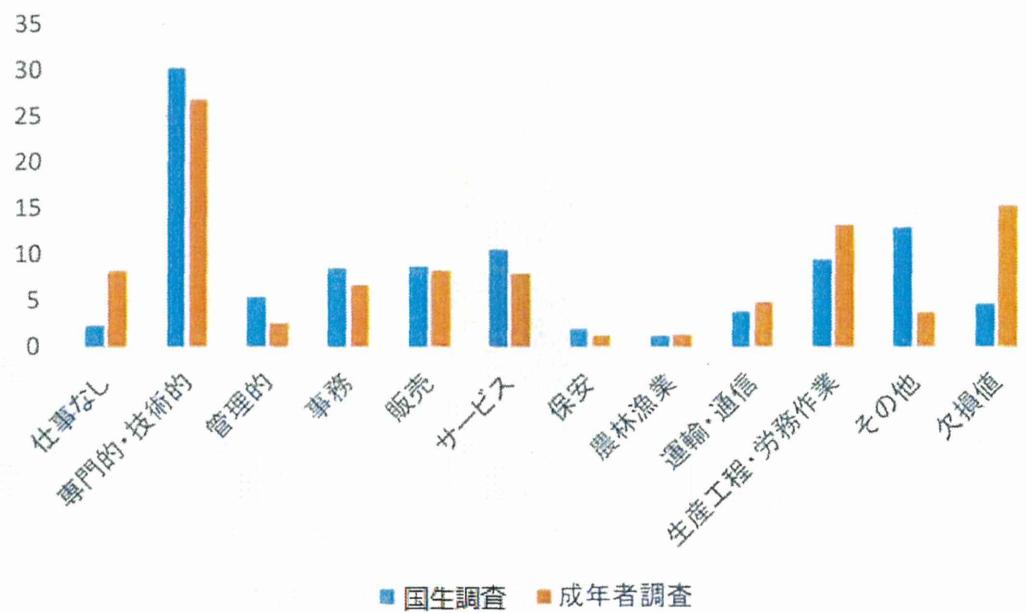
➤ 正規雇用・非正規雇用



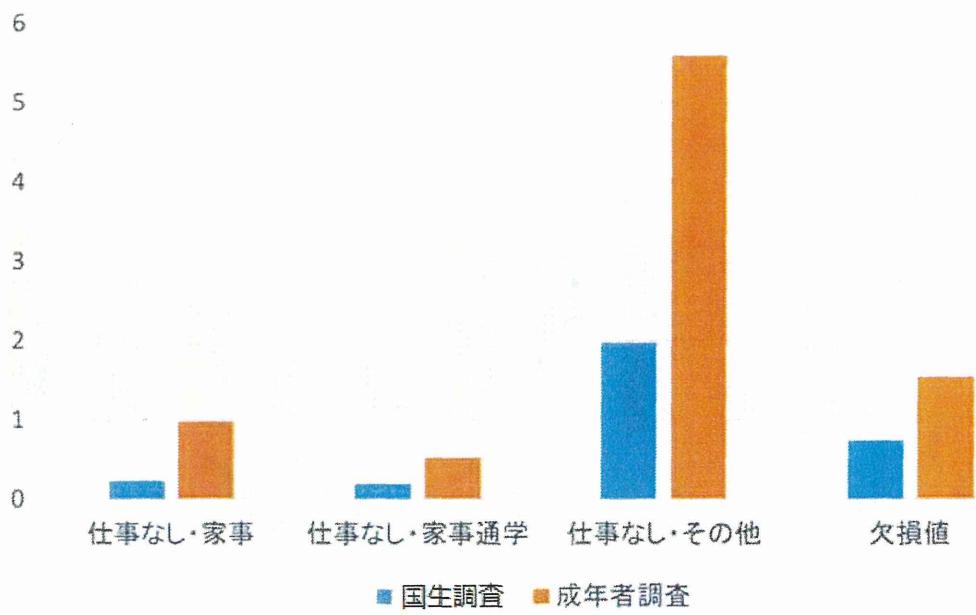
➤ 会社規模



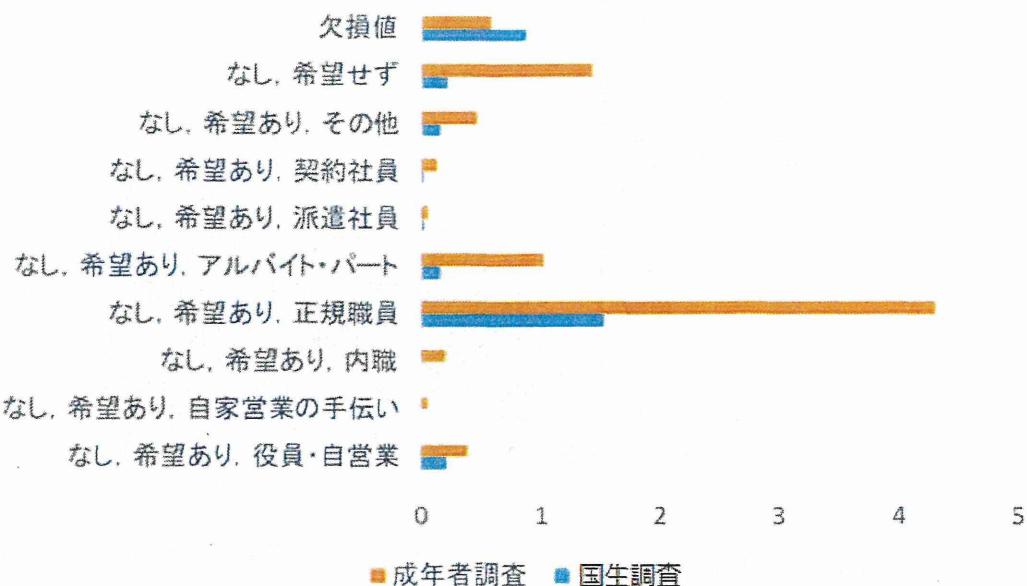
➤ 職業分布



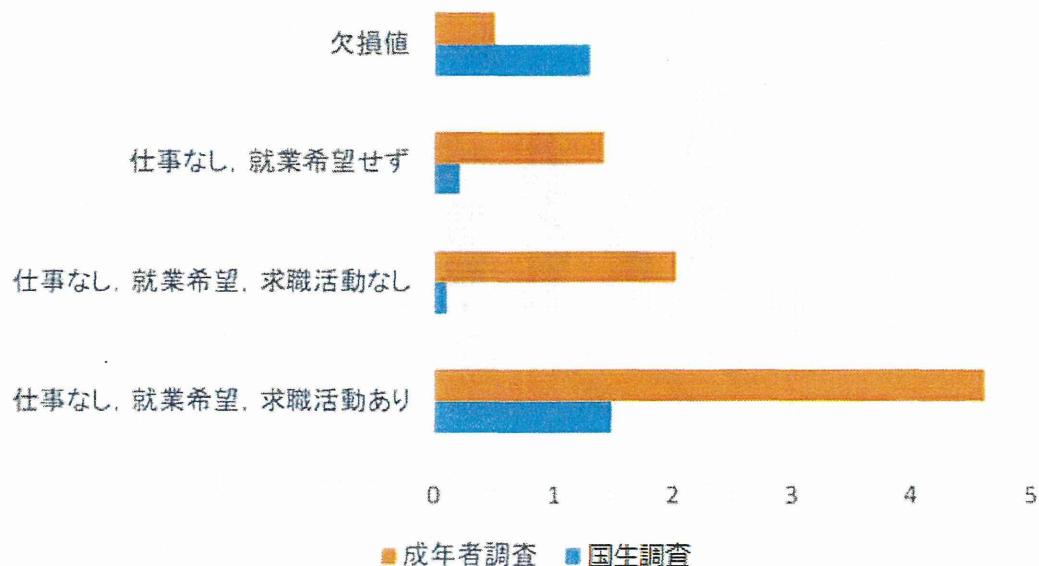
➤ 仕事の有無+家事・通学・その他 (90%以上が仕事あり)



➤ 仕事の有無+就業希望+希望職種（90%以上が仕事あり）



➤ 仕事の有無+就業希望+求職活動（90%以上が仕事あり）



資料 2：脱落過程のモデリングの結果の図表を示す。

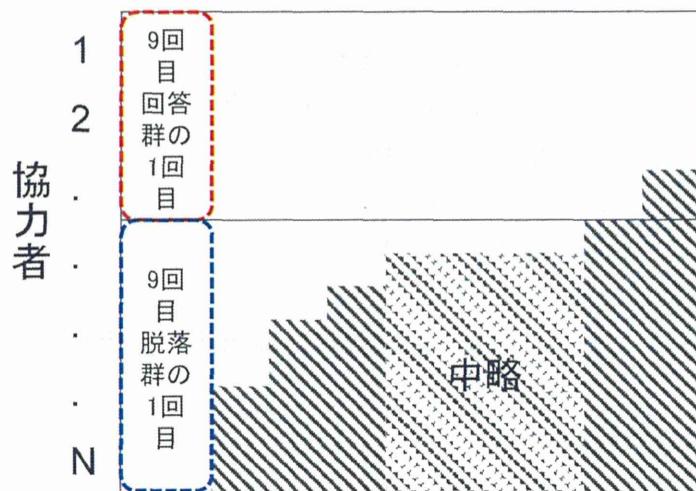


図 1：脱落した回答者と脱落していない回答者の初回調査における回答の比較

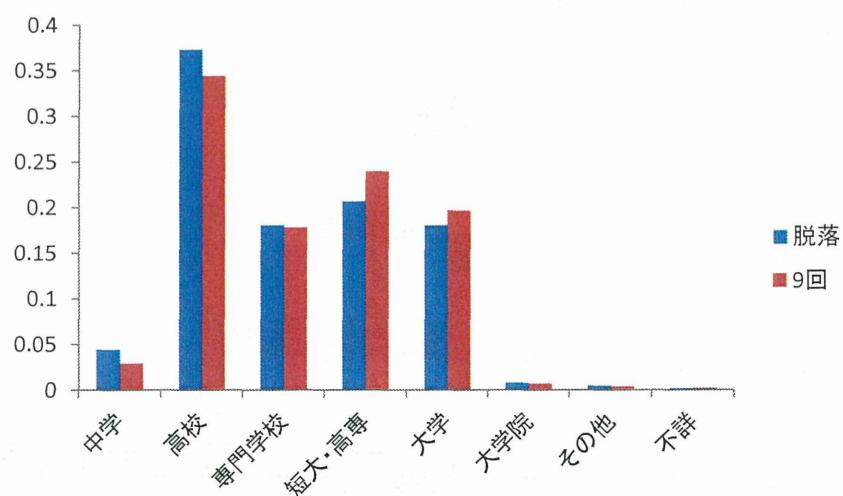


図 2：脱落群と 9 回目回答群の学歴分布の差

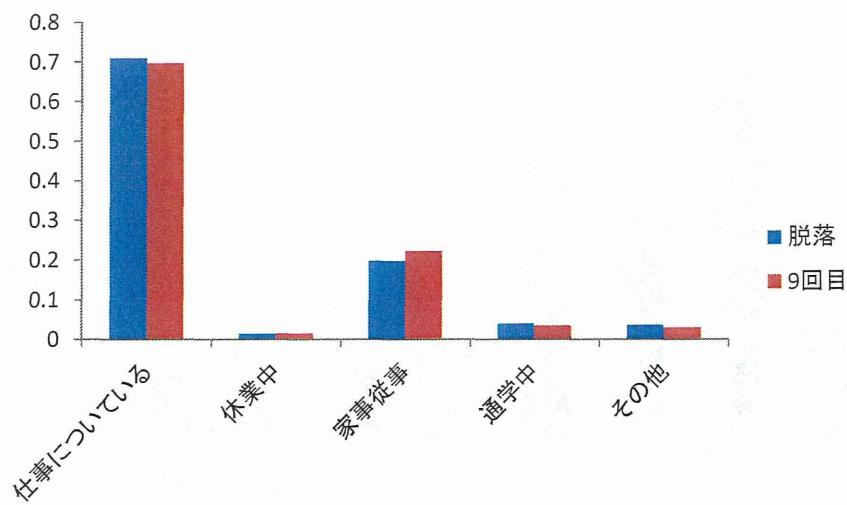


図3：脱落群と9回目回答群の仕事有無の差

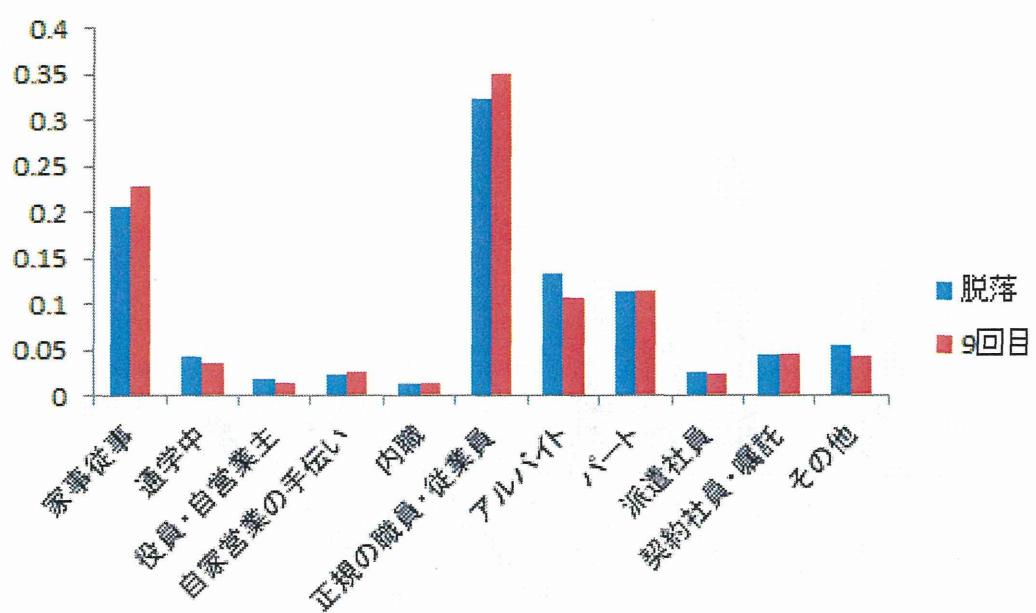


図4：脱落群と9回目回答群の雇用形態の差

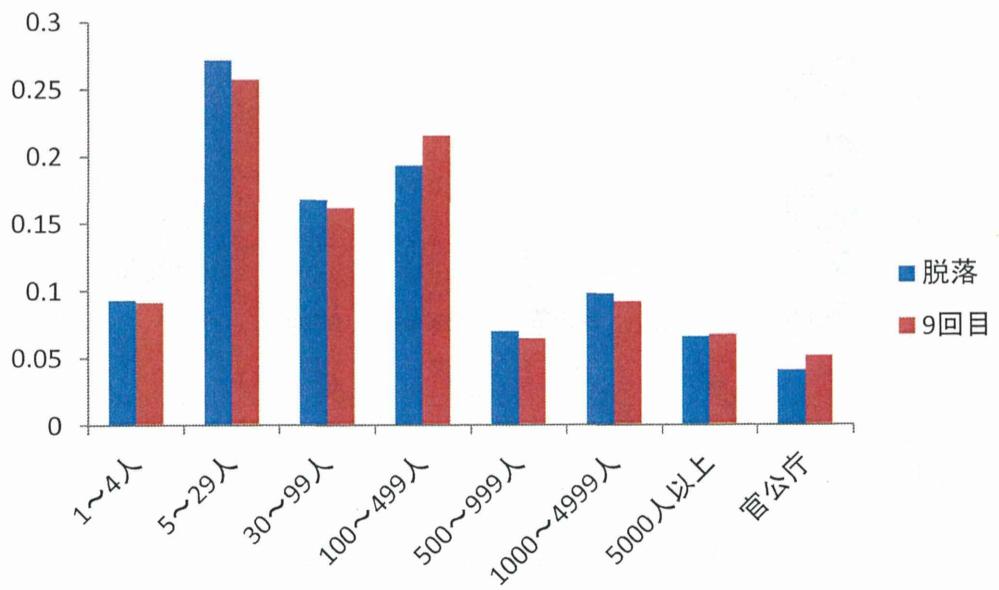


図 5 : 脱落群と 9 回目回答群の会社規模の差

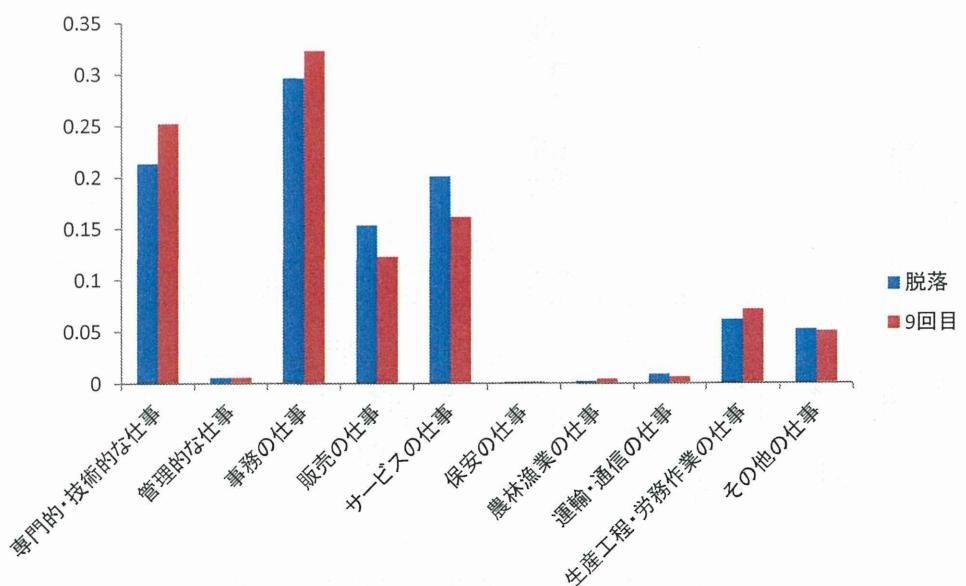


図 6 : 脱落群と 9 回目回答群の職業分類の差

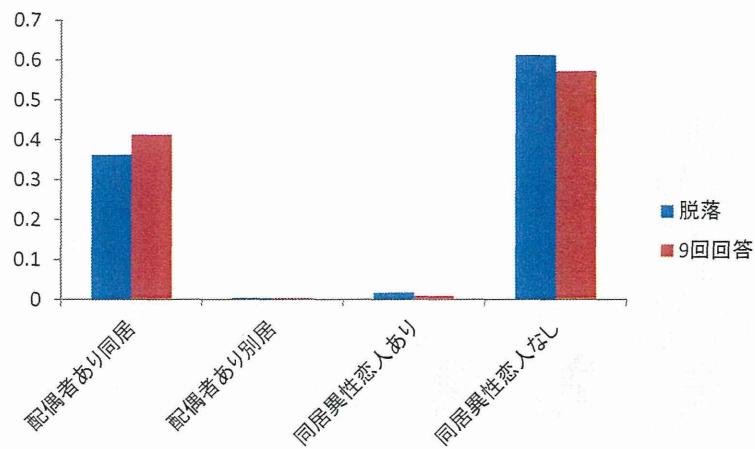


図 7 : 脱落群と 9 回目回答群の配偶者や異性との同居の差

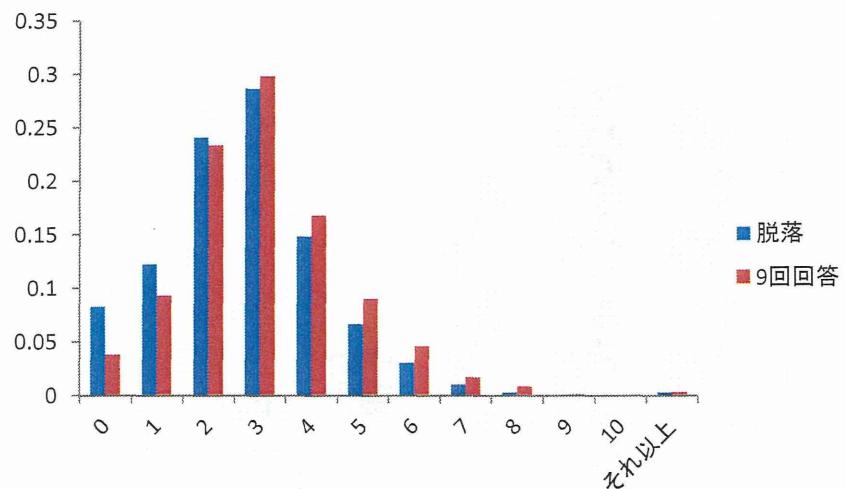


図 8 : 脱落群と 9 回目回答群の同居人数の差

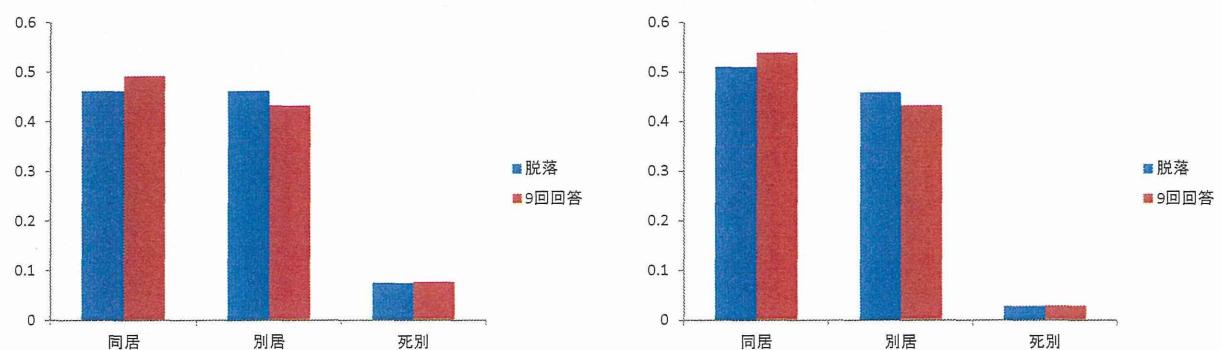


図 9 : 脱落群と 9 回目回答群の親との同居率の差

左 : 父親 右 : 母親

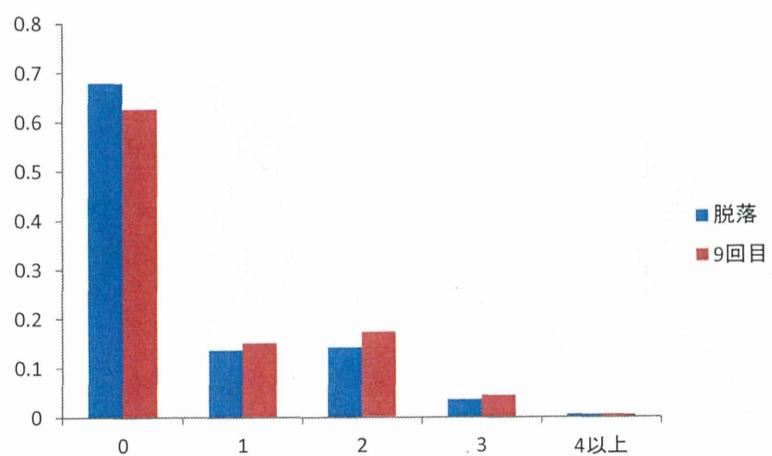


図 1 0 : 脱落群と 9 回目回答群の子供の数の差

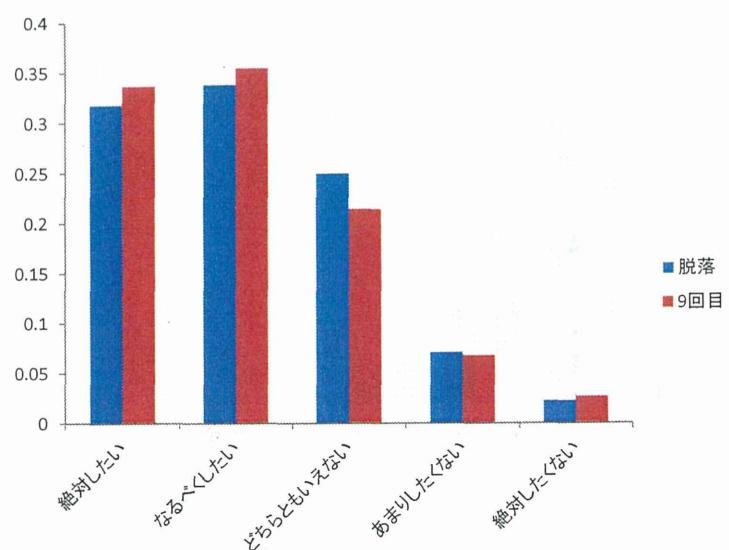


図 1 1 : 結婚意向についての分布の差

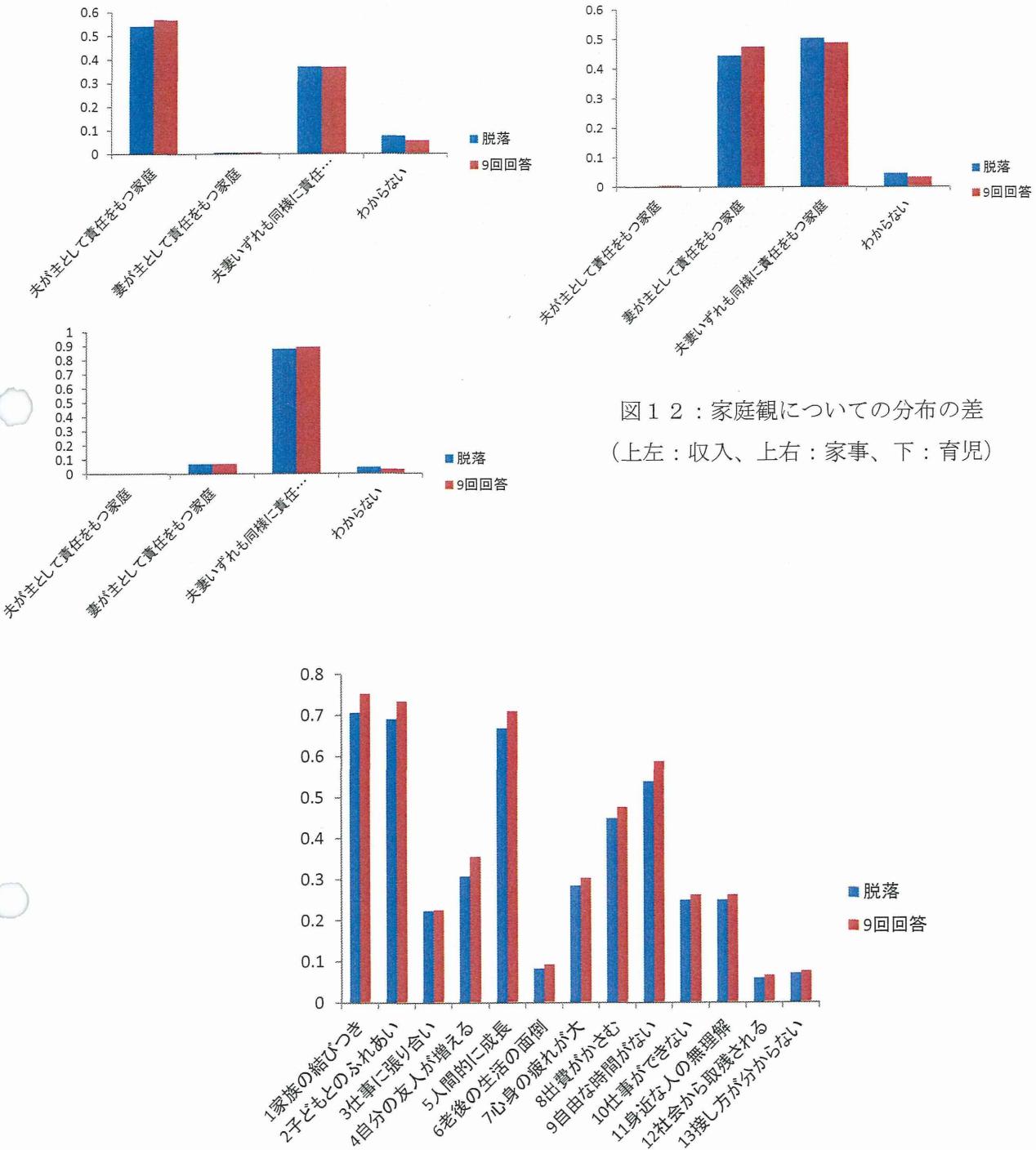


図1-2：家庭観についての分布の差

(上左：収入、上右：家事、下：育児)

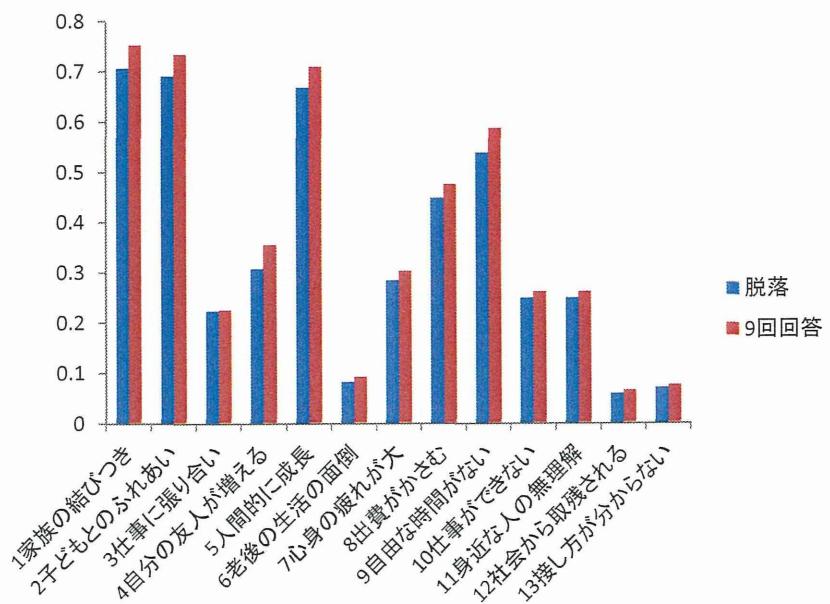


図1-3：子供についての意見の分布

表1：連続回答を予測するロジスティック回帰分析における  
各変数の影響力の強さについて

要因	自由度	カイ <sup>2</sup> 乗値	p値
年齢	14	69.024	<.0001
学歴	7	50.103	<.0001
入院通院	2	19.029	<.0001
配偶者	3	24.035	<.0001
子供の数	4	20.933	<.0001
収入4分位+無収入	4	11.349	0.0229
同居人数	11	21.024	0.0331
父同居	2	5.093	0.0783
母同居	2	12.029	0.0024
家計支出4分位	3	15.024	0.0018
雇用形態+職業分類	19	51.038	<.0001
母同居×子供の数	8	17.038	0.0297
家計支出4分位×配偶者	9	22.093	0.0086

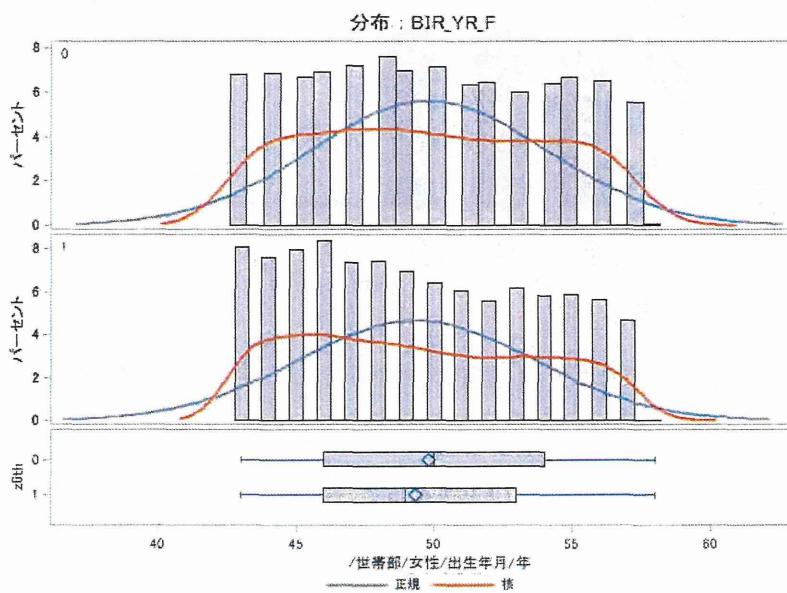
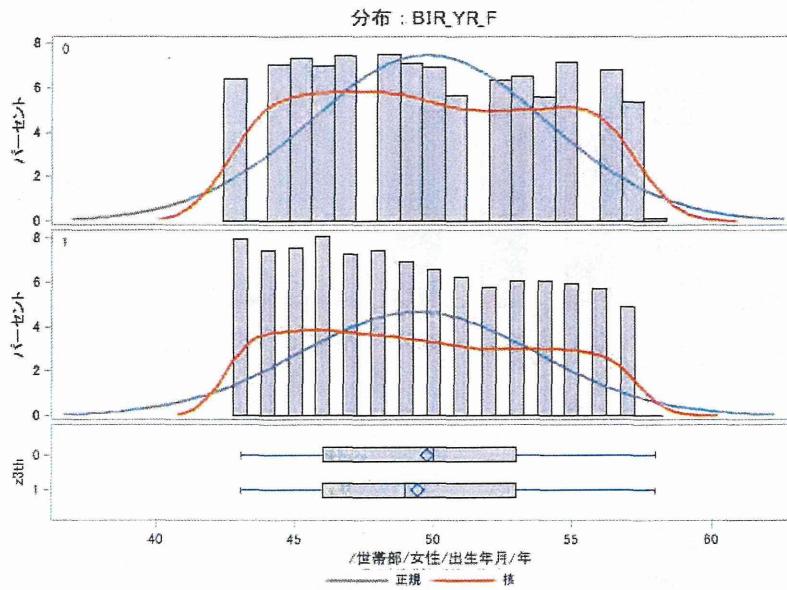


図 14：第3回と6回での回答群と脱落群の年齢（生年）の分布の違い

\*それぞれ図内部の上は脱落群、下が回答群（横軸は昭和何年であるかを示す）

上：第3回（0.34歳ほど脱落群が若い。p=0.0002）

下：第6回（0.45歳ほど脱落群が若い。p<0.0001）

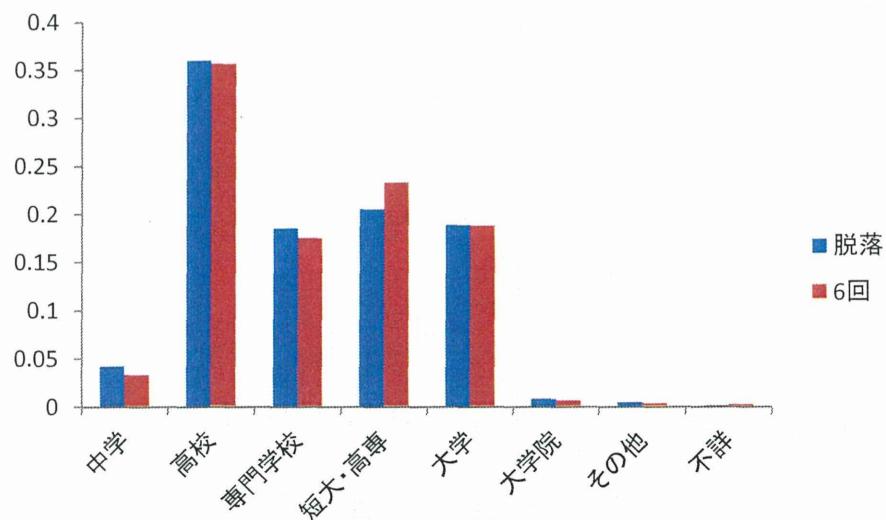
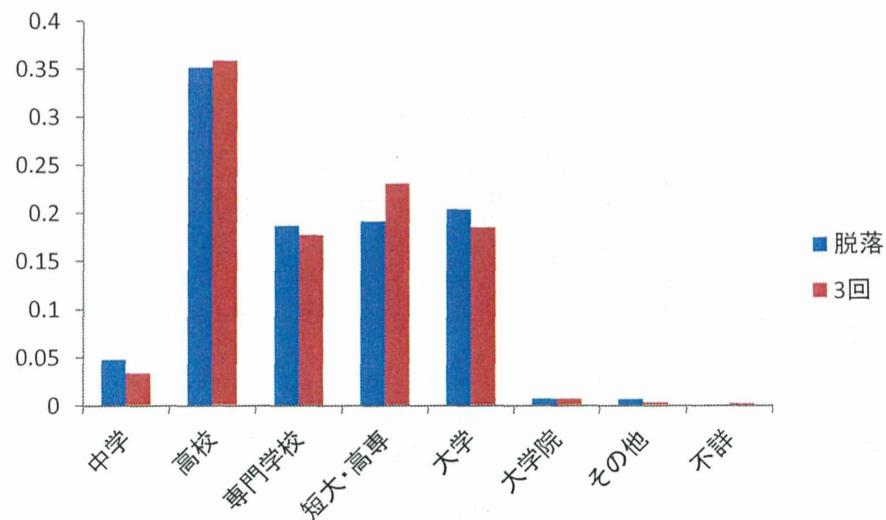


図 15：第 3 回と 6 回での回答群と脱落群の学歴の分布の違い(上：第 3 回，下：第 6 回)

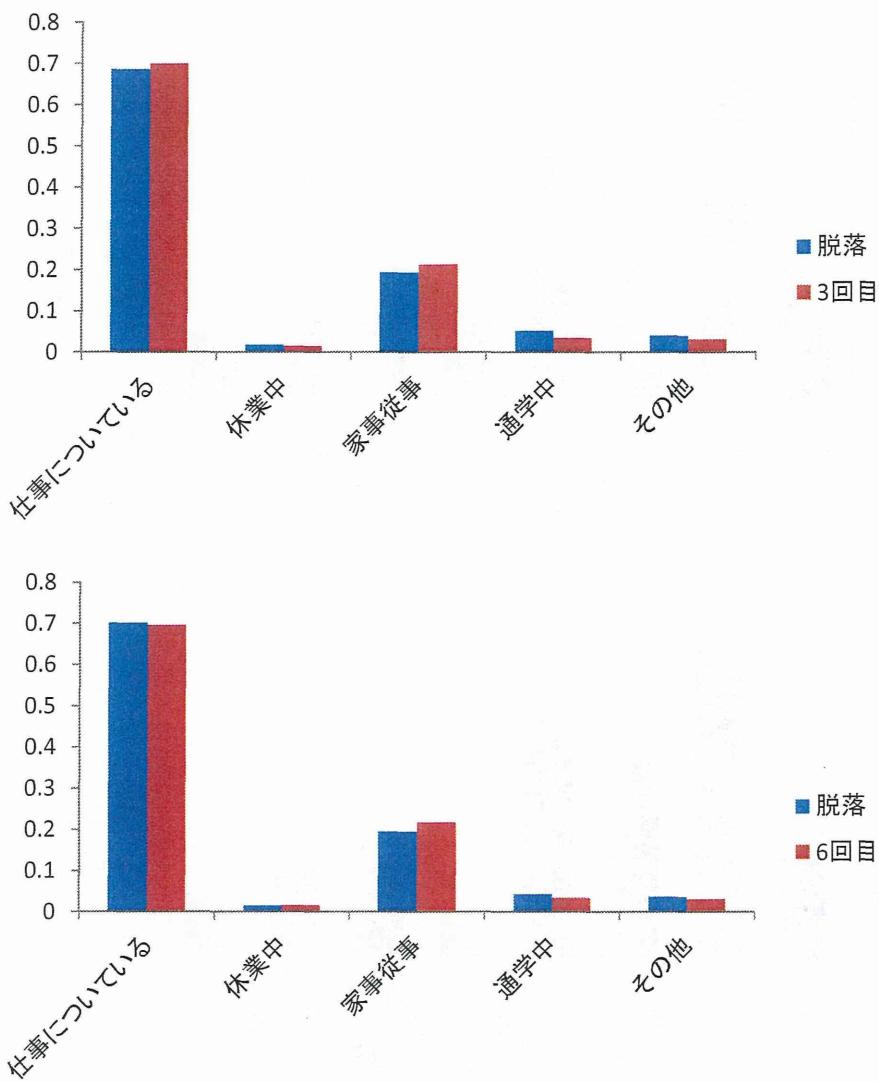


図 16：第 3 回と 6 回での回答群と脱落群の就業の分布の違い(上：第 3 回, 下：第 6 回)